



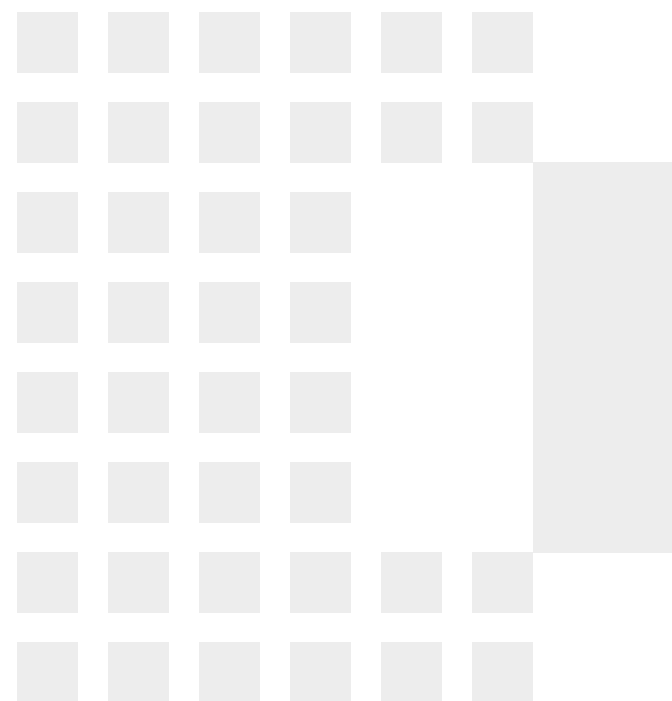
Think Automation and beyond...

2021年3月期 第2四半期

(2020年4月1日～2020年9月30日)

決算説明資料

2020年11月4日
IDEC株式会社
証券コード:6652



連結決算のポイント



- 前年同期比では、新型コロナウイルスの感染拡大による全世界的な景気の低迷の影響を受け、中国を除いて低調に推移するも、計画を上回る水準で推移
- 上期の受注高は前年同期比9.1%減、受注残は4.6%増

売上

■売上高 254億円（前年同期比 Δ 14.8%）

- 新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、主要顧客である製造業の設備投資需要が、中国を除き低調に推移した結果、国内外ともに減少

利益

■営業利益 16億円（前年同期比 Δ 35.4%）

■経常利益 15億円（前年同期比 Δ 37.9%）

■四半期純利益[※] 11億円（前年同期比 Δ 41.1%）

※親会社株主に帰属する四半期純利益

- 主に売上減少の影響から利益は減少

連結業績概要<連結損益計算書> - 1



2021年3月期 上期 業績概要

(単位:百万円)
※百万円未満切捨て

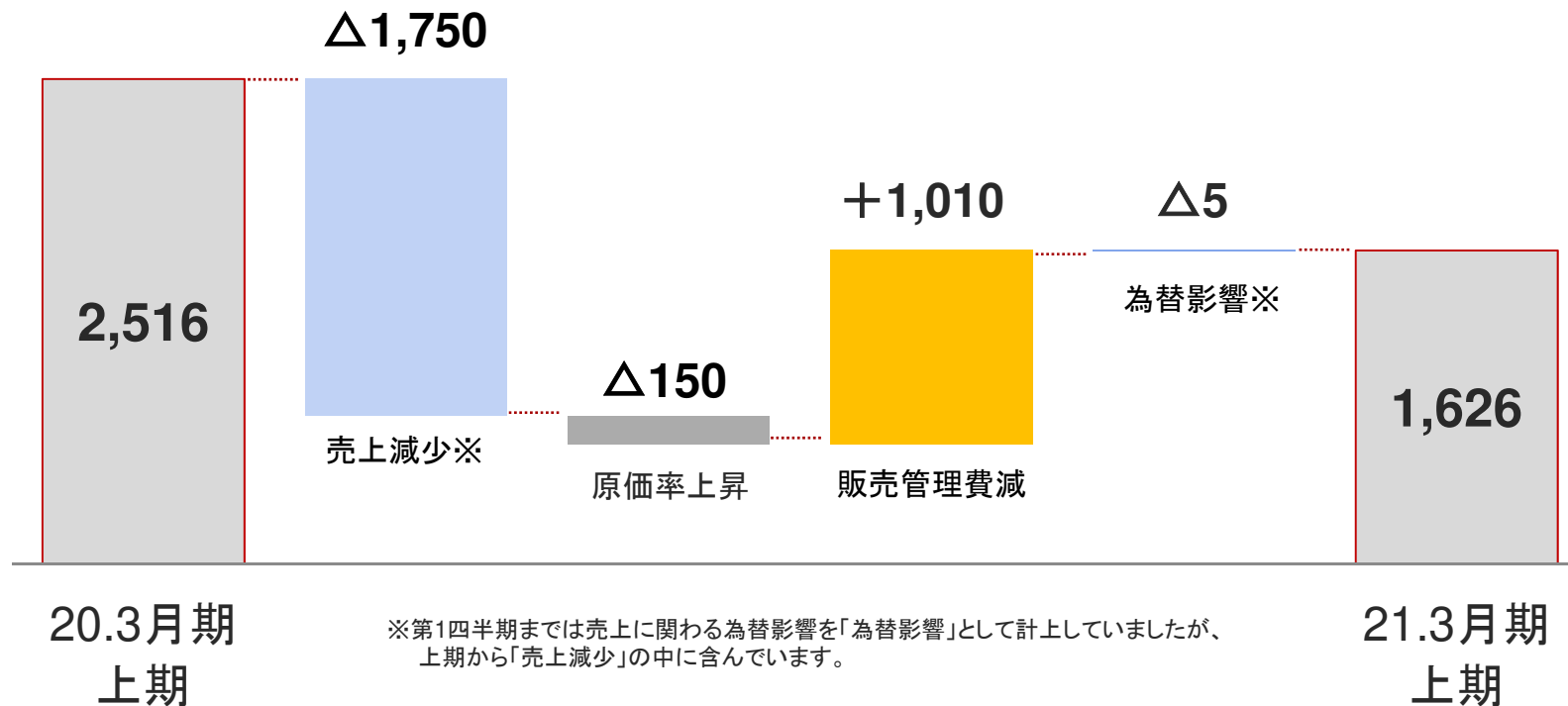
	21.3月期 上期			20.3月期 上期	
	実績	対売上比	前年同期比	実績	対売上比
売上高	25,387	100.0%	△14.8%	29,802	100.0%
売上総利益	10,779	42.5%	△15.8%	12,802	43.0%
販売費及び一般管理費	9,153	36.1%	△11.0%	10,286	34.5%
営業利益	1,626	6.4%	△35.4%	2,516	8.4%
経常利益	1,519	6.0%	△37.9%	2,447	8.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,090	4.3%	△41.1%	1,849	6.2%
1株当たり四半期純利益 (潜在株式調整前)	35.89円	—	△22.27円	58.16円	—
USDレート (円)	106.93円		△1.67円	108.60円	—
EURレート (円)	119.34円		△4.98円	124.32円	—

連結営業損益変動要因



販売管理費を削減したものの、スイッチ事業など利益率の高い主力製品群の売上が減少したことなどから、営業利益は前年同期比で約8.9億円減少

(単位:百万円) ※百万円未満切捨て



連結業績概要<連結損益計算書>-2



四半期別 業績概要

(単位:百万円) ※百万円未満切捨て	20.3月期						21.3月期				
	2Q(7月~9月)		3Q(10月~12月)		4Q(1月~3月)		1Q(4月~6月)		2Q(7月~9月)		
	実績	対売上比	実績	対売上比	実績	対売上比	実績	対売上比	実績	対売上比	前年同期比
売上高	15,165	100.0%	14,280	100.0%	14,272	100.0%	12,837	100.0%	12,549	100.0%	△17.2%
売上総利益	6,529	43.1%	6,130	42.9%	6,108	42.8%	5,407	42.1%	5,372	42.8%	△17.7%
販売費及び一般管理費	5,111	33.7%	4,939	34.6%	5,111	35.8%	4,561	35.5%	4,592	36.6%	△10.2%
営業利益	1,417	9.3%	1,191	8.3%	996	7.0%	845	6.6%	780	6.2%	△45.0%
経常利益	1,393	9.2%	1,263	8.8%	902	6.3%	806	6.3%	712	5.7%	△48.9%
親会社株主に帰属する四半期純利益	984	6.5%	787	5.5%	369	2.6%	570	4.4%	519	4.1%	△47.2%
1株当たり 四半期純利益 (潜在株式調整前)	31.42円		25.13円		11.78円		18.63円		17.28円		

仕向地別売上状況



(単位:百万円)
※百万円未満切捨て
(構成比)

	21.3月期 上期	20.3月期 上期	前年同期比
日本	11,499 (45.3%)	13,884 (46.6%)	△17.2%
海外	13,887 (54.7%)	15,917 (53.4%)	△12.8%
米州	3,897 (15.4%)	4,732 (15.9%)	△17.6%
EMEA (欧州、中東、アフリカ)	4,103 (16.2%)	5,698 (19.1%)	△28.0%
アジア・ パシフィック	5,887 (23.2%)	5,487 (18.4%)	+7.3%
合計	25,387 (100.0%)	29,082 (100.0%)	△14.8%

日本 前年同期比 **△ 17.2%**

■ 自動車や工作機械、ロボット業界などの需要減少により、スイッチ事業やオートメーション事業／センシング事業を中心に売上が減少

海外 前年同期比 **△ 12.8%**

■ 米州やEMEAにおいては、新型コロナウイルスの感染拡大によるロックダウンにより、米州ではオートメーション事業／センシング事業、EMEAではスイッチ事業を中心に売上が減少

■ 中国での需要回復の影響により、スイッチ事業やインダストリアルコンポーネンツ事業が伸長

製品別売上状況



※2020年3月期より、製品種類別の名称を変更しております。

(単位:百万円) ※百万円未満切捨て (構成比)	21.3月期 上期	20.3月期 上期	前年同期比
スイッチ事業	11,834 (46.6%)	14,289 (47.9%)	△17.2%
インダストリアルコンポーネンツ事業	4,783 (18.8%)	5,297 (17.8%)	△ 9.7%
オートメーション事業／ センシング事業	3,604 (14.2%)	4,605 (15.5%)	△21.7%
安全・防爆	3,086 (12.2%)	3,305 (11.1%)	△ 6.6%
システム	1,525 (6.0%)	1,303 (4.4%)	+17.1%
その他	553 (2.2%)	1,001 (3.4%)	△44.7%
合 計	25,387 (100.0%)	29,802 (100.0%)	△14.8%

スイッチ事業

中国の需要回復によりアジア・パシフィックでは増加したものの、日本、米州、EMEAでは総じて減少

インダストリアルコンポーネンツ事業

米州などでは減少した一方、中国では制御用リレーの売上が伸長

オートメーション事業／センシング事業

日本で自動認識機器の売上が減少したことに加え、米州でプログラマブル表示器やプログラマブルコントローラなどが減少

安全・防爆事業

景況感悪化の影響により減少

システム

日本において、半導体・液晶製造装置用の制御盤の売上が増加

その他

日本において、環境・エネルギー関連事業の売上が減少

連結業績概要 <連結貸借対照表>



2021年3月期上期 連結貸借対照表概要

資産のポイント

- 現金及び預金が借入により増加したものの、売上債権の減少や、のれん等無形固定資産の償却により、総資産は前期末比13.7億円減少

負債のポイント

- 短期借入金が増加した一方、長期借入金が増加したことにより、総負債は前期末比10.5億円増加

純資産のポイント

- 利益剰余金が増加したものの、自己株式の取得や為替換算調整勘定の減少により、純資産は前期末比24.3億円減少

(単位:百万円)※百万円未満切捨て

科目	21.3月期 (9月末)	20.3月期 (前会計年度)	前会計年度末比 増減
流動資産	38,009	38,193	△ 184
固定資産	47,637	48,831	△1,194
流動負債	25,282	27,240	△1,957
固定負債	20,012	16,996	+3,015
純資産	40,351	42,788	△2,436
総資産	85,646	87,025	△1,378
自己資本比率	47.0%	49.1%	△ 2.1%

連結業績概要 <連結CF計算書>



2021年3月期上期 連結キャッシュ・フロー計算書概要

営業活動によるCF

- 法人税等を納付した一方、税引前純利益や減価償却費の計上により28.7億円

投資活動によるCF

- 投資有価証券の売却による収入があった一方、固定資産の取得による支出等で△13.8億円

財務活動によるCF

- 借入金による収入があった一方、自己株式の取得、配当金などの支出により9.0億円

(単位:百万円)※百万円未満切捨て

	21.3月期 上期	20.3月期 上期	前年同期比増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,874	3,606	△ 731
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,383	△795	△ 588
フリー・キャッシュ・フロー (FCF)	1,491	2,811	△1,319
財務活動によるキャッシュ・フロー	△907	△1,416	+ 508
現金及び現金同等物の期末残高	14,557	14,069	+ 488
設備投資額	1,588	1,311	+ 277
減価償却費	1,477	1,524	△ 46

2021年3月期の予想

2021年3月期 連結業績予想



	21.3月期 予想			20.3月期 実績	
	予想	対売上比	前期比	実績	対売上比
(単位:百万円) ※百万円未満切捨て					
売上高	50,000	100.0%	△14.3%	58,355	100.0%
売上総利益	21,000	42.0%	△16.1%	25,040	42.9%
販売費及び一般管理費	18,500	37.0%	△9.0%	20,336	34.8%
営業利益	2,500	5.0%	△46.9%	4,704	8.1%
経常利益	2,400	4.8%	△48.0%	4,613	7.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,600	3.2%	△46.8%	3,006	5.2%
1株当たり当期純利益 (潜在株式調整前)	53.07円	—	△42.12円	95.19円	—
USDレート (円)	107.00円		△1.72円	108.72円	
EURレート (円)	118.00円		△2.82円	120.82円	

2021年3月期 連結業績予想

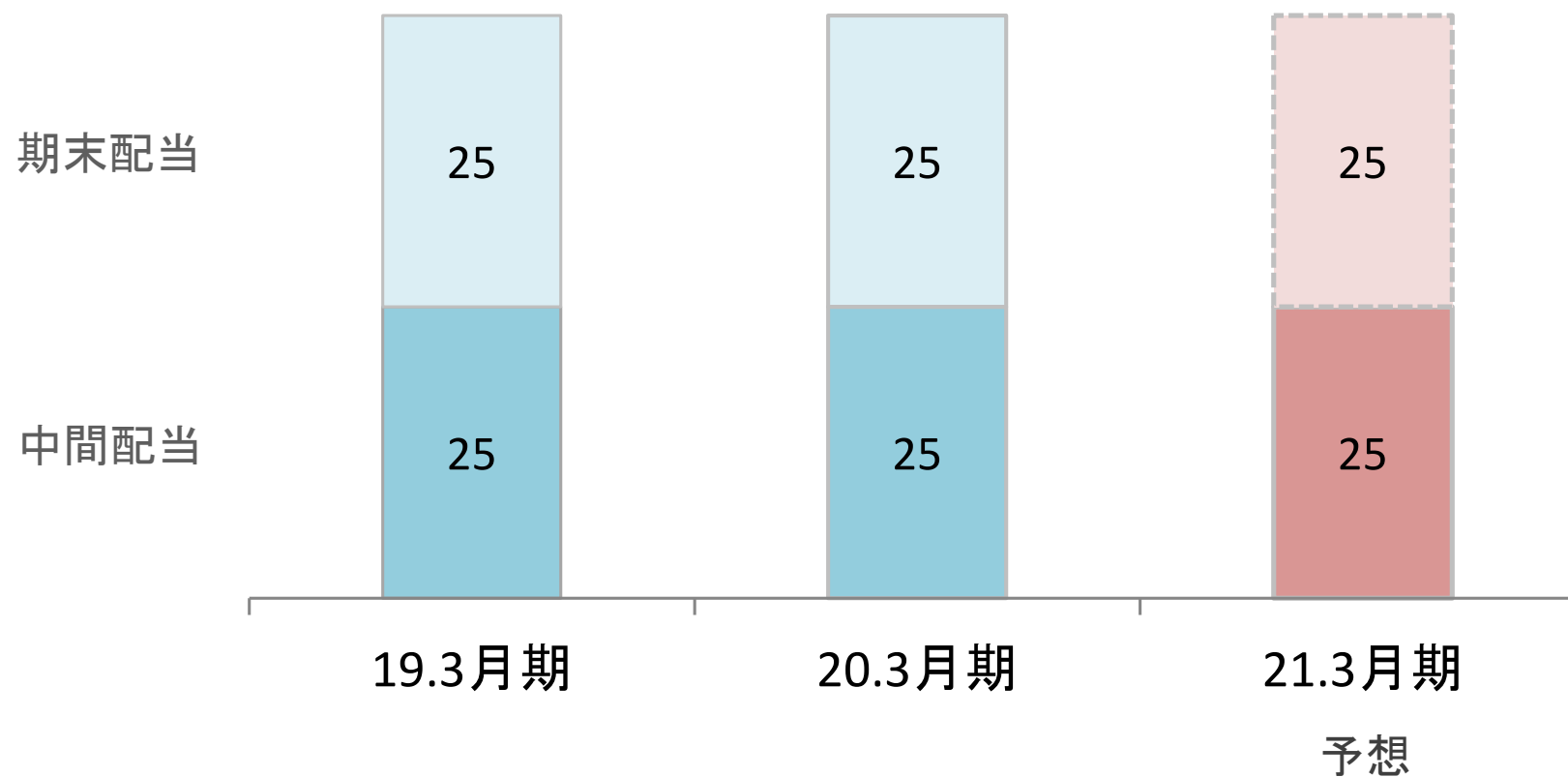


	21.3月期 予想		20.3月期 実績
	予想	前期比	実績
(単位:百万円)			
スイッチ事業	24,100	△ 11.8%	27,329
インダストリアルコンポーネンツ事業	9,300	△ 10.1%	10,339
オートメーション事業／センシング事業	7,100	△ 20.7%	8,958
安全・防爆	6,000	△ 9.9%	6,657
システム	2,300	△ 20.7%	2,901
その他	1,200	△ 44.7%	2,169
合 計	50,000	△ 14.3%	58,355
国内売上高	23,200	△17.2%	28,032
海外売上高	26,800	△11.6%	30,322
(海外比率)	(53.6%)		(52.0%)

2021年3月期 配当予想



■ 2021年3月期の年間配当予想は50円
(中間配当は25円)



2021年3月期の取り組み

取り組み方針

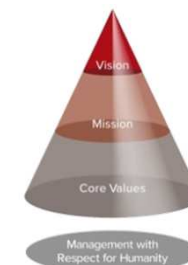


2020年3月期の世界経済は、米中貿易摩擦や新型コロナウイルスの影響から先行き不透明な状況が続いており、2021年3月期も引き続き厳しい状況が続くことが見込まれます。

IDECは2020年11月に創業75周年を迎えますが、100周年に向けて外部環境に左右されない強い事業体制を構築し、持続的な成長を続けていくためには、『The IDEC Way』の価値観を共有し「One IDEC」としてグループ一丸となって事業戦略を推進していきます。

Vision: Pioneer the new norm for a safer and sustainable world.
いつも、ずっと、みんなに新しい安心を

Mission: To create the optimum environment for humans and machines.
人と機械の最適環境を創造



【2021年3月期 方針】

- 事業活動を通じた社会課題の解決を通して、持続的な成長を実現するとともに、高収益体制に変革することで、企業価値の向上を図る。
- 企業文化の刷新に取り組み、グローバルベースで「One IDEC」を目指す。



成長戦略の推進

- 成長に紐付く新製品の投入
- 新規事業の拡大、地域・業界軸での事業拡大
- M&Aや提携を含めた戦略的パートナーシップの構築

収益性の向上

- 業務生産性の向上、事業の選択と集中
- 材料・製品の統合・品目削減
- 生産体制の見直し・納期短縮

経営基盤の強化

- 人材マネジメントシステムの強化
- デジタル化による働き方改革の推進

製品紹介

2020年7月発売： Push-in接続方式のφ22コントロールユニット

- 2段コンタクトブロック(HW/CWシリーズ)と、高電圧タイプの照光押ボタンスイッチ(HWシリーズ)をバリエーションに追加
- φ22のPush-in接続方式コントロールユニットは全機種がフルラインアップ



- HWシリーズ・CWシリーズのPush-in接続方式の押ボタンスイッチ・表示灯で2020年度グッドデザイン賞を受賞

<https://jp.idec.com/media/PR20200731.pdf>

2020年8月発売： 防爆LED照明「HLL形」

- -30°Cから+55°Cまで対応した高い耐環境性とメンテナンスフリーを実現
- ゾーン1、2、21、22のガス・蒸気防爆と粉じん防爆にも対応



<https://jp.idec.com/media/PR20200826.pdf>

2020年9月発売：スマートRFIDリーダ「KW2D形」

- 社員証などのICカードや、鍵の代わりとして欧州で広く使われているKEYFOBタグの読み取りが可能
- 機械設備の権限管理・生産現場の履歴管理に最適

<https://jp.idec.com/media/PR20200904.pdf>



2020年11月発売：安全リレーモジュール「HR6S形」

- マイコンの搭載により高度な自己診断とその結果の出力を可能にした最新の製品
- 従来製品は各種入力機器によって対応する機種が異なっていたが、HR6S形は最大7種類の入力機器に対応可能

https://jp.idec.com/media/PR20201029_1.pdf



※安全リレーモジュールは、「安全を確認できた場合だけ機械を運転する」という制御を実現するための安全関連製品

販売会社設立について

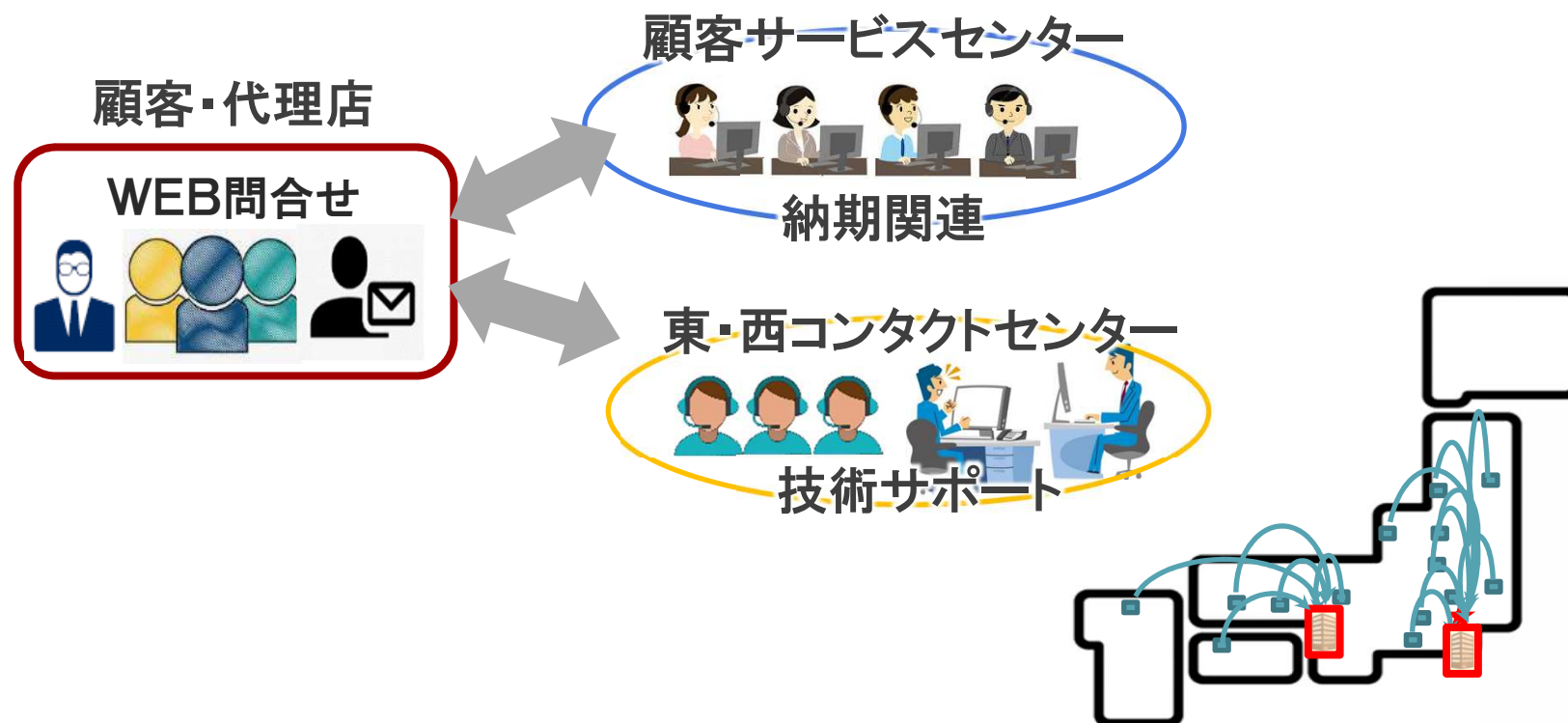
国内営業部門の分社化準備に伴う新会社の設立



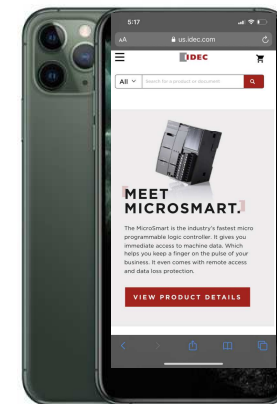
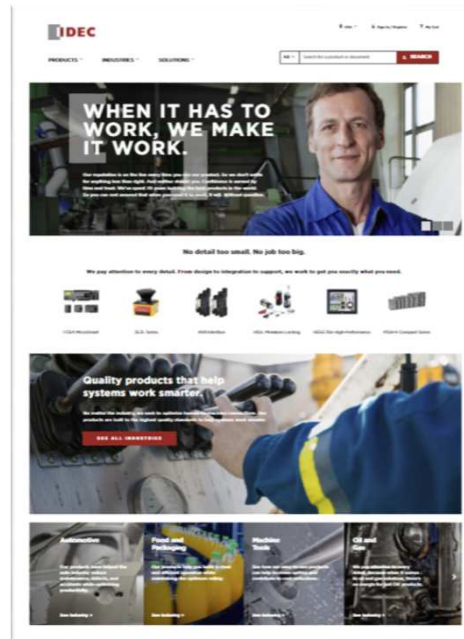
- 11月4日の取締役会で、国内営業部門の分社化準備に伴い、販売会社を設立することを決定
- 代理店とのさらなる関係強化を推進するとともに、販売サポートを強化することで日本における売上とシェアの拡大を推進

会 社 名	IDECセールスサポート株式会社 (IDEC株式会社の100%子会社)
所 在 地	大阪市淀川区西宮原2丁目6番64号
代 表 者	河中 泰治
資 本 金	1億円
設 立	2020年11月末（予定）
営 業 開 始	2021年4月（予定）
事 業 内 容	制御機器及び制御システムの販売及び販売代理

- 事業環境の変化が激しい中で、スピーディな意思決定を実現するため、国内営業部門を販売会社として分社化するとともに、国内営業拠点の集約を実施



- 効率的な営業活動を実施していくための取り組みとして、デジタル技術を活用したデジタルマーケティングを推進
 - 厳選した顧客情報により、効率の良い営業活動を実践
 - IDECのWebサイトの閲覧履歴から、顧客の動向を把握し、提案内容の絞り込みを実施



本社内への専用スタジオの開設



- 大人数を対象としたウェビナーなどの開催が可能
- さまざまな動画コンテンツを社内で内製し、幅広く配信することでPR力を強化



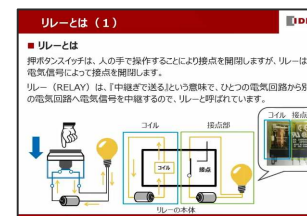
ウェビナー



製品訴求動画



デモ動画



製品解説動画



製品紹介動画

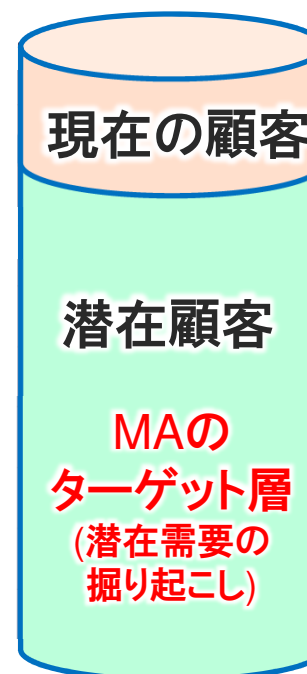
■ 強みのあるスイッチなどHMI製品(APEM含む)と、安全機器のさらなるシェア向上を推進

※HMIの2020年3月期の国内シェア:約50%

現在の顧客には更なる満足度UP施策

MA活用による新規需要掘り起こし

- MAやスタジオの有効活用
- 面談予約システムの運用



参考資料

地域別受注状況



	20.3月期 上期		21.3月期 上期			
	受注高	受注残高	受注高	前年同期比	受注残高	前年同期比
単位:百万円						
日本	14,482	4,008	12,987	△10.3%	4,079	+ 1.8%
米州	4,574	1,323	4,316	△ 5.6%	1,689	+27.7%
EMEA (欧州、中東、アフリカ)	5,076	3,158	4,306	△15.2%	3,246	+ 2.8%
アジア・ パシフィック	4,170	1,699	4,107	△ 1.5%	1,637	△ 3.6%
合計	28,304	10,189	25,718	△ 9.1%	10,653	+ 4.6%

地域別受注状況

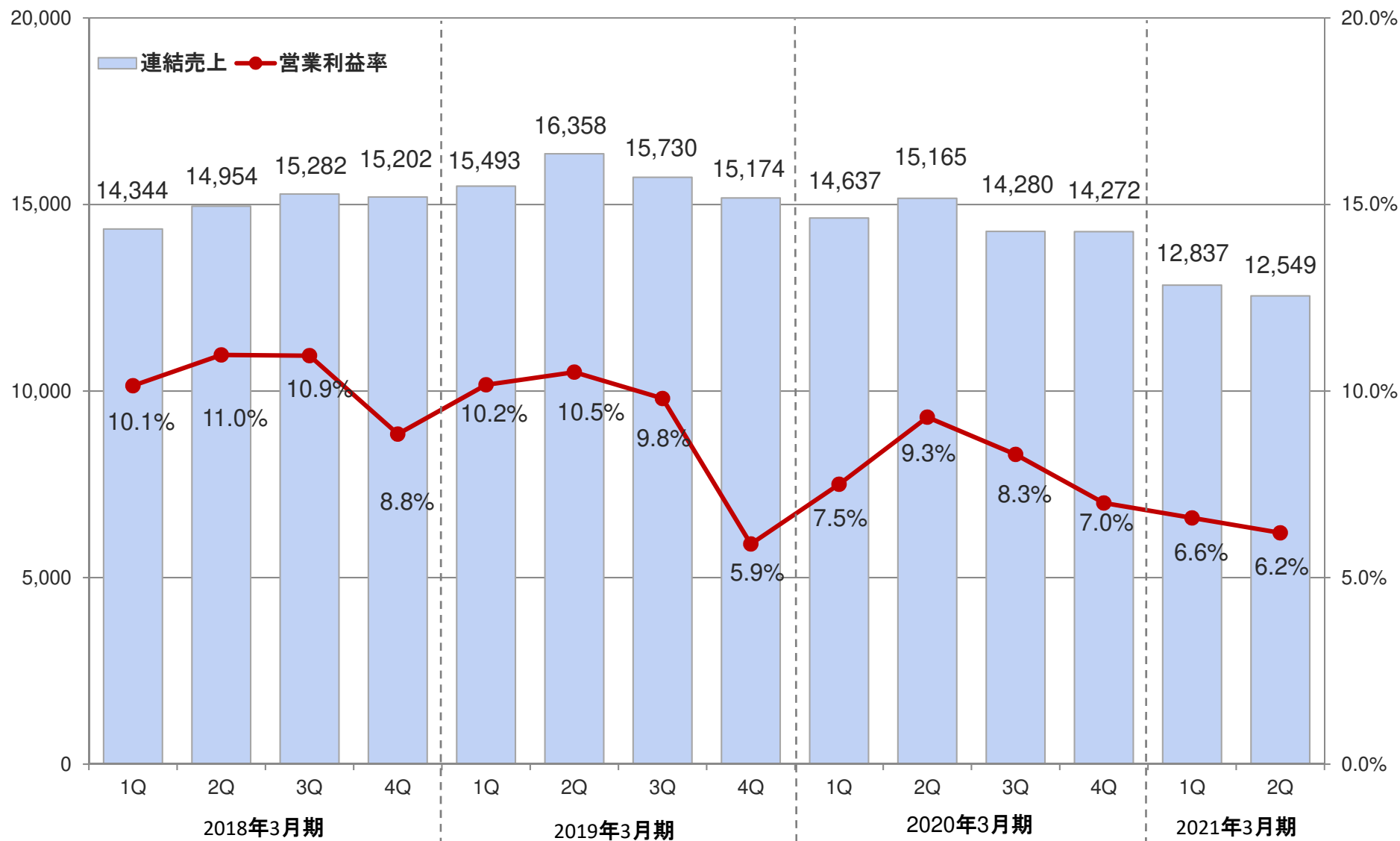


単位: 百万円	20.3期						21.3期			
	2Q(7月~9月)		3Q(10月~12月)		4Q(1月~3月)		1Q(4月~6月)		2Q(7月~9月)	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
日本	7,256	4,008	7,563	3,961	7,572	3,836	6,023	3,528	6,963	4,079
米州	2,218	1,323	2,100	1,223	2,464	1,275	2,135	1,466	2,180	1,689
EMEA (欧州、中東、アフリカ)	2,414	3,158	2,177	3,028	2,378	3,049	2,652	3,438	1,654	3,246
アジア・ パシフィック	2,054	1,699	2,083	1,620	2,345	2,160	2,052	1,914	2,055	1,637
合計	13,943	10,189	13,926	9,833	14,761	10,322	12,863	10,348	12,854	10,653

売上高・営業利益率 四半期推移



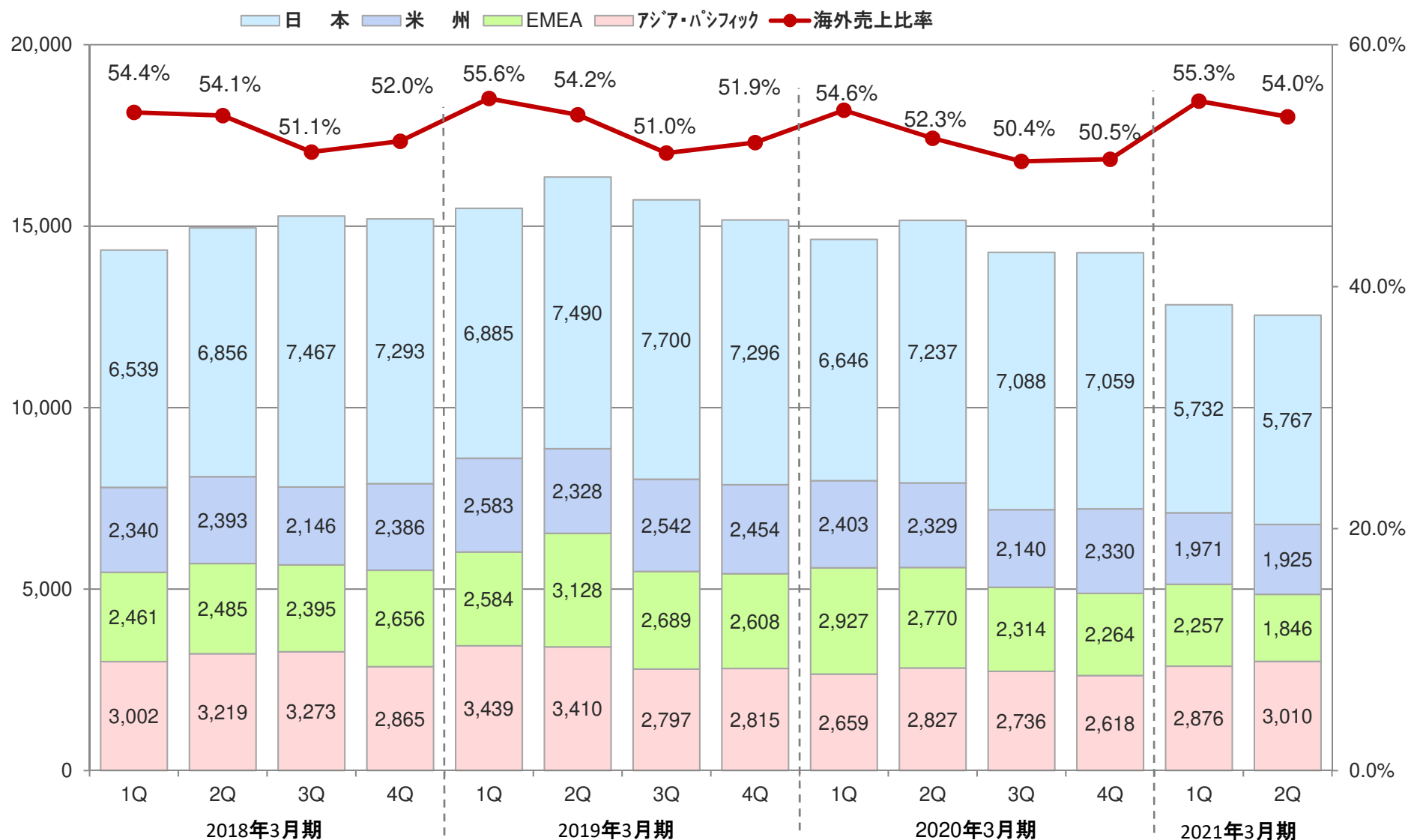
(単位:百万円)



地域別売上高 四半期推移



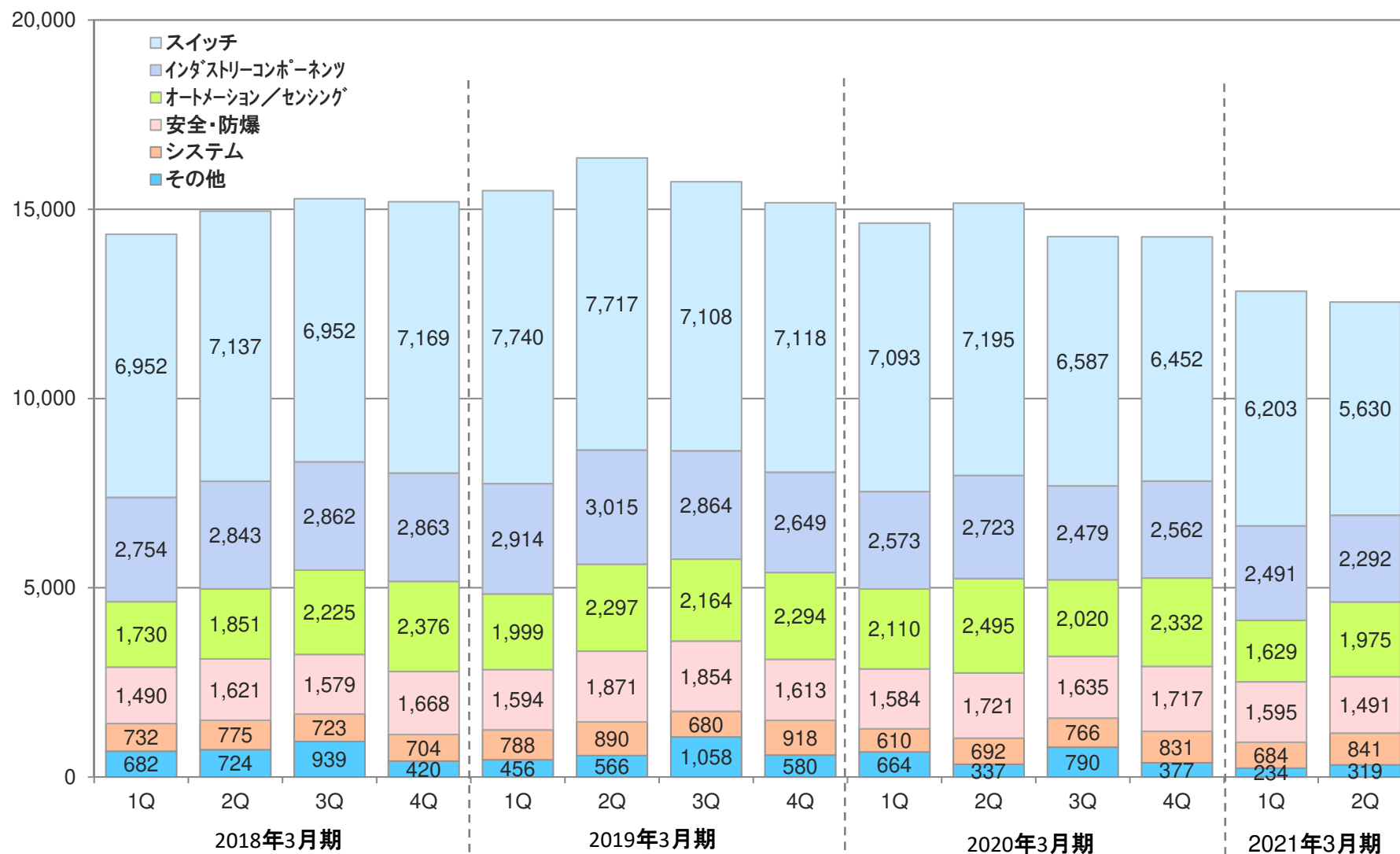
(単位:百万円)



製品別売上高 四半期推移



(単位: 百万円)

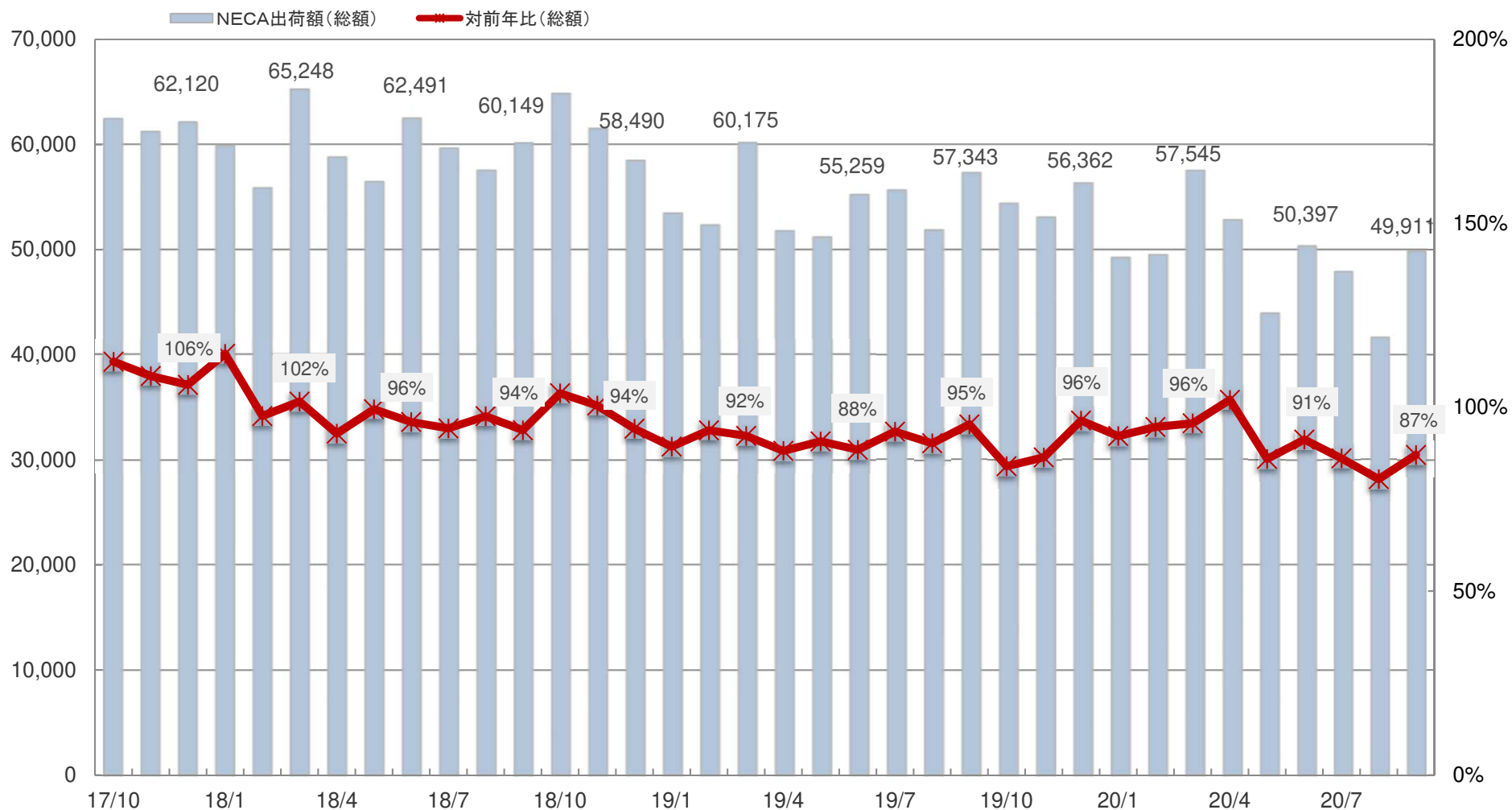


業界の動向 (日本電気制御機器工業会(NECA)出荷データ推移)



17年10月～20年9月の業界出荷額推移と対前年比の状況

(単位:百万円)



製品別売上状況

スイッチ	インダストリアル コンポーネンツ	オートメーション/ センシング	安全・防爆	システム	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・制御用操作スイッチ ・ジョイスティック ・表示灯  <p>APEM製品</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・スイッチング電源 ・端子台 ・制御用リレー/ソケット ・サーキットプロテクタ ・産業用LED照明 	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラマブルコントローラ ・プログラマブル表示器 ・光電スイッチ ・自動認識機器 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全関連機器 ・防爆関連機器 	<ul style="list-style-type: none"> ・表示器複合システム ・セキュリティシステム ・その他各種システム 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境・エネルギー関連事業 ・協働ロボットシステム ・次世代農業ソリューション 

この資料には一部当社の計画や業績予想が含まれていますが、それらの計画や予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が計画、予想したものです。従いまして、実際の業績などは、今後さまざまな要因によって計画、予想数値と異なる結果となる可能性があります。

IDEC株式会社

経営戦略企画部

TEL :06-6398-2505

FAX :06-6398-2587

E-mail : yasuyuki.ogawa@idec.com

